



平成24年7月2日

関係者各位

マイクロン・テクノロジー・インク
Kipp Bedard Micron Investor Relations
kbedard@micron.com (208) 368-4465
Daniel Francisco Micron Media Relations
dfrancisco@micron.com (208) 368-5584

更生会社 エルピーダメモリ株式会社
管財人 坂本 幸雄
管財人弁護士 小林 信明
問い合わせ先：
取締役・執行役員 安達 隆郎
電話番号 03-3281-1500 (代)

エルピーダとマイクロンがスポンサー契約に合意

マイクロンはエルピーダを取得することによりモバイルポートフォリオを強化
レックスチップ株式会社もパワーチップより取得

マイクロン・テクノロジー・インク（NASDAQ：MU）（以下、「マイクロン」）と更生会社エルピーダメモリ株式会社および子会社秋田エルピーダメモリ株式会社（以下両社併せ、「エルピーダ」）の管財人は本日、マイクロンが、エルピーダの取得、および支援を目的とするスポンサー契約に調印したことを発表いたしました。この契約は、東京地方裁判所の管轄下におけるエルピーダの会社更生手続下において結ばれたものであり、東京地方裁判所の許可を得たものであります。

このスポンサー契約にしたがって総額2000億円の支援金を前提に、一定の手続費用等を控除して、更生担保権者・更生債権者への支払いが行われることになります。具体的には、スポンサー契約の実行時に、マイクロンは600億円の現金をもって、エルピーダメモリ株式会社への100%出資を行います。その後、エルピーダメモリ株式会社は、マイクロンの子会社として、マイクロンに対して行うファンダリ（製造受託）事業等を通じて、2019年までにキャッシュフロー1400億円をマイクロンの支払いにより得ます。これらの支払いを原資とする更生計画に基づく債権者への弁済により、残りのエルピーダに対する更生債権の支払い義務は、更生手続に基づき免除されます。

マイクロンは、スポンサー契約において、一定の条件のもと、スポンサー契約締結直後から、エルピーダの設備投資資金に対して支援を行うこと、エルピーダの生産と従業員を維持することに合意しています。

また、マイクロンは、本日、このスポンサー契約に関連し、マイクロンとパワーチップ・テクノロジー社（以下、「パワーチップ」）との別途の合意により、同社グループが保有するレックスチップ・エレクトロニクス社（以下、「レックスチップ」）の株式（約24%）を取得することも併せて発表しています。

エルピーダの資産には、300mm ウエハに対応した広島工場、同じく 300mm ウエハに対応した工場を持つレックスチップの株式約 65%、そして秋田エルピーダメモリ株式会社における後工程の事業を中心とする資産が含まれます。マイクロングループは、パワーチップから取得するレックスチップ株式と併せて同社の発行済み株式の約 89%を有することになります。エルピーダとレックスチップの工場を合わせれば、月産 20 万枚以上の 300mm ウエハ処理能力となり、これは DRAM、NAND、NOR を合わせた現在のマイクロンの生産能力を 50%増強することとなります。

エルピーダは高い技術力を背景とし、携帯電話やタブレット PC 向けモバイル DRAM で高いプレゼンスを築いています。マイクロンはネットワーキングやサーバー向けの企業向け DRAM ソリューション、および NAND/NOR フラッシュメモリの幅広い製品ポートフォリオの提供でリーディングポジションを獲得しています。両社の補完的製品ポートフォリオにより、DRAM 市場におけるマイクロンのポジションのさらなる強化、顧客へのさらに質の高い完全なソリューションの提供が可能となります。

マイクロンの CEO であるマーク・ダーカンは以下のように述べています。

「我々は業界をリードするメモリ専門会社を創っていきます。今回の合意は、研究開発活動の強化と生産能力の拡大、メモリのコア市場へのアクセスの向上、DRAM と NAND/NOR フラッシュメモリのバランスを取るための生産能力拡大を実現し、その帰結として現在のマイクロンとエルピーダの顧客へ大きな利便性をもたらすことにより、今後統合される両社のメモリ市場における地位の向上に寄与します。」

また、エルピーダの管財人である坂本幸雄は以下のように述べています。

「マイクロンがエルピーダのスポンサーになることにより、債権者の皆さまへの弁済を安定的に行うことが可能となるとともに、今後、策定する更生計画案に対する債権者の皆さまおよび裁判所のご理解をより円滑に得ることに資するものと考えます。今回のマイクロンとの統合は、エルピーダの顧客、サプライヤー、従業員にとっても良い結果をもたらすものですし、エルピーダが高い技術、製品群、優れた人材を持つことの証左です。そして両社統合後は、顧客に対し幅広いメモリ・ソリューションを提供することができる事業体となります。」

なお、今回の契約の実行までには、債権者の皆さま、東京地方裁判所および各国の競争当局による承認等を含む一定の条件の充足が必要となります。エルピーダの更生計画案

は現在 2012 年 8 月に東京地方裁判所へ提出される計画となっていますが、これらの手続を経て、2013 年前半に契約を実行することを見込んでおります。なお、マイクロンは、パワーチップが所有するレックスチップ株式を、このスポンサー契約の実行と同時に取得する予定です。

エルピーダは、2012 年 2 月 27 日に日本の会社更生法に基づく会社更生手続開始の申立書を東京地方裁判所に提出しました。

エルピーダについて

エルピーダメモリ株式会社は、世界トップレベルの技術力により、DRAM（ダイナミック・ランダム・アクセス・メモリ）の開発・設計・製造・販売活動を展開しています。最先端の製造技術を誇る生産拠点の広島工場、台湾を拠点とする合弁企業レックスチップ、後工程として秋田エルピーダメモリ株式会社を有しています。エルピーダは、大容量、高速、低消費電力、小型パッケージなどの先端製品ラインナップにより、PC、サーバー、モバイル機器、デジタル家電など幅広い応用分野にお応えします。

マイクロンについて

Micron Technology, Inc. は、先進的な半導体ソリューションを提供する会社として、世界の大手の一角を成しています。同社は、世界的な事業展開により、幅広い種類の DRAM、NAND 及び NOR フラッシュメモリの製造、販売を行うと共に、革新的なメモリ技術、パッケージング・ソリューション、半導体システム等を提供しており、それらの製品や技術は、先端コンピューティング、消費者製品、ネットワーキング、内蔵メモリ、モバイル製品等に使用されています。Micron は、米国 NASDAQ に上場しています。Micron Technology, Inc. に関する詳細については、www.micron.com をご参照ください。